えみこ先生の健康管理レター 今回のテーマ:「認知症予防」

運転中に病気などが原因で起こった事故のことを「健康起因事故」と呼びます。 大きな車を運転するドライバーが健康でなければ、事故は防げません。

9月は世界アルツハイマー月間、21日はアルツハイマーデーと制定されています。認知症患者は65歳の7人に1人にものぼるとされ、 誰にとっても身近な問題です。ドライバー職では人手不足のため高齢化が進んでいます。運転は認知→判断→操作が必要なので認知症は 致命的です。自分は大丈夫!と誰しもが思うところですが、いつまでも元気で長くお仕事出来るよう認知症と向き合ってみませんか?



9月号 Vol.37号

認知症は生活習慣病と深い関係があります。日本人の死因は1位ガン2位心疾患3位老衰4位脳血管疾患と並びます。 老衰を除く死因には乱れた食習慣に起因していると言われており、いわゆる生活習慣病と呼ばれるものが 健康を蝕んでいるようです。九州大学大学院医学研究院による久山町研究では、

糖尿病は主にアルツハイマー病発症に有意な危険因子であることが明らかとなりました。なんとその差は2.1倍です。 生活習慣病との関連はそれだけにとどまらず、高血圧の人は脳血管性認知症のリスクが正常の人と比較して

3. 4倍もの差があるというデータも発表されています。

図1に示した厚生労働省のデータもアルツハイマー病の防御因子として「食事」促進因子として「高血圧」が挙げられています。つまり食事から高血圧にアプローチすることで、循環器疾患予防と同時に認知症予防も見込めるのです。そんな重要なカギを握る高血圧に有効でK,Ca,Mgが豊富に含まれる食品は「まごは(わ)やさしい」です。 毎食そろえるのが難しい場合は1日あるいは1週間単位で摂取しているか確認してみて下さい。

「まごはやさしい」

「末」豆類

イソフラボンが、更年期障害や骨粗鬆症の緩和効果があると言われています。納豆や豆腐も豆製品です。

「ご」ごま

多くのミネラルが含まれ、必須アミノ酸は<mark>精神安定作用</mark>があります。活性酸素を除去して動脈硬化や、心疾患、脳疾患を予防する<mark>アンチエイジング効果</mark>があります。

「は」 わかめ (海草類)

海草はカルシウム・マグネシウム・鉄・ヨウ素・亜鉛・鉄などミネラルが豊富です。

ヌルヌルの成分であるアルギン酸は体内の余分なナトリウムやコレステロールを排出してくれる作用があります。

「や」 野菜 種類豊富な野菜。抗酸化作用、免疫能向上などそれぞれ優れた成分が含まれているので、

根菜類・緑黄色野菜・硫化アリルなどをバランスよく摂りましょう。

※根菜類:大根・にんじん・ごぼう・れんこんなど

※緑黄色野菜:かぼちゃ・ブロッコリー・春菊・ほうれんそう・とまとなど

※硫化アリル豊富:たまねぎ・ねぎ・にらなど

「さ」 魚(小魚)

特に小魚がよいです。頭から骨・内臓ごと食べられるため<mark>カルシウム、鉄など不足しがちなミネラル</mark>が豊富です。

「し」 しいたけ(きのこ類)

低カロリーで食物繊維が多く、生活習慣病の原因となる動脈硬化・高血圧などに有効です。免疫力向上・

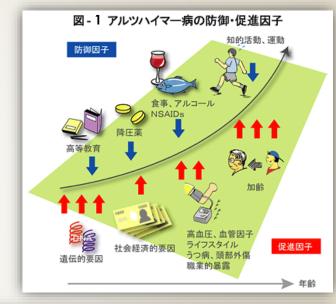
抗腫瘍作用があるβーグルカンが多く含まれます。カルシウムの作用を助けるビタミンDも豊富なので骨を丈夫にします。

「い」 いも類

でんぷん・食物繊維・ビタミン・ミネラルが豊富ですので、じゃがいも・さつまいも・里芋・ 山芋などそれぞれに優れた成分が含まれているので、バランスよく摂りましょう。



しいたけ





発行者

- 般社団法人健康マネジメント協会 管理栄養士 佐藤 恵美子 原籍第川区周日幕駅-34-15 T.F.L.03-5404-9547 F.A.X.03-5404-9548 ホームページ http://bedth-mai

ご相談がございましたらメール・WEBよりお気軽にお問い合わせ下さい。

-般社団法人運輸安全総研トラバス

Mail tb@trubus.org ホームページ https://trubus.org/

